

一、次の文章をよく読んで問に答へなさい。

藤原孝時は、琵琶という日本古来の弦楽器の並ぶ者のないめいしゆとして世に知られていた。孝時は、仏へのしんじんも深く、仏門にも入り、仏弟子としての名である法名を法探房といつた。自分の屋敷に仏をまつるお堂をたて、¹ 楽音寺と名付けて、「阿祇妙樂音寺」^A という額を掲げていた。法探房はこの樂音寺を、樂器の練習場としても開放したので、管絃をたしなむ人たちが（A）出入りしていた。この樂音寺には、阿弥陀様、お祇迦様、妙音天（音楽の徳を施す女神）などをおまつりし、日々、有難いお経をとなえていた。また、音楽をえんそうして、それを仏様へのお供えとしていた。こうしたわけで、このお堂をそう名付けたのである。樂音寺に掲げられた額は、藤原行能という人が書いたものである。行能は、書の名人として後世にまで名を知られた藤原行成七代の子孫で、行能自身も当代ではひるいなき書の名人であつた。

この話は法探房が、樂音寺の額を書いてもらおうと行能のもとを訪ねたときのものであるが、このよくな道をきわめた名人たちの間では、時に不思議な出来事が起ころるものである。

額を書いてもらおうと、ある年の八月一三日、法探房は綾小路にある行能の屋敷を訪ねた。行能はかねてから病氣であったが、このときは（B）病状が重く、起き上がることさえできないほどであった。しかし、病床に法探房を招き入れて、横になりながら対面をした。病状はかなり重いようで、腹がふくらみ、息をするのも苦しい様子。口にする言葉さえ、はつきりとはしなかつた。苦しい息の下で、「こんな病床にお通しし、寝ながらお会いするのは大失禮でたらわれることです。しかし、（C）これがあなたとお会いできる最後の機会になるでしょうから、（D）お許しください。お越しくださつたことは、思いがけなく、とてもうれしいことです。それにしましても、おいでくださつたのはどういうわけでしょうか。」とたずねた。法探房は、「このようにご病氣でおられたとは、（E）存じ上げませんでした。少しばかり、お願ひしたいことがありますので、お訪ねしましたが、今のご様子をはいけんしましては、今回はご遠慮申し上げます。今度、お体が良くなられてからお願ひに参ります。」と答えた。しかし行能は、「確かに病氣はこのように重いのですが、（F）おいでくださつたのです。ともかくご用件をお話しください。思いがけなくおいでいただきましたのに……。」と無理をして強く言つたので、法探房は額のこと話をした。

法探房の話を聞くと、行能は大変驚いて両手を合わせ、はらはらと涙を流しながらこう言つた。

「とても不思議なことです。だいぶ昔、近江の国（今の滋賀県）から一人の僧がやつて来て、寺の額を書いてほしいと頼まれたことがありました。その僧が言うには『近江の国にずいぶん古びて荒れ果てた寺がありました。この寺を大切にしてあがめ、寺が栄えてくれば、何かおそろしい魔^まのようなものがじやまをしだします。寺の僧たちもその魔をおそれ、寺が持つていれる田畠も年を追うごとに、どんどん荒れていきました。この様子を見るにつけ、確かに魔のようなものはこわいのですが、寺が（G）荒れていくのはとても悲しく、何とか栄えるようにならなければなりません。そこで立派な額を掲げれば、このようなおそろしいことは起らなくなる」と思い、当代一の書家であるあなた様に額をお書きいただきたい。』ということでした。それを気のどくに思い、その寺のために額を書くことにしたのです。それから四、五年経つたころでしようか、例の僧が再びやつて来て、『書いてくださつた額を掲げてからは、よくないことがまったくなりました。寺の僧たちも安心してつとめにはげみ、寺の田畠も豊作続きです。これをとても喜ばしく、有難いことだと思つていましたところ、これはあの額のお陰だと、夢でお告げがありました。とても有難いことだと、このことのご報告に参りました。』と手を合わせて言つたのです。

ところが、今月の八日、このように病氣で寝ていたのですが、明け方、ある夢を見ました。天人と思われる人が額を持って来られ、『この額に書かれている文字がいたんでいる。しゅうふくしてほしい。』と額を私に手渡されました。見ると確かに以前、近江の国の寺のために書いた額です。なるほど、文字が少し消えかかっているところがあります。そこで、夢の中のことではありますが、文字を書き直して、天人にお返しいたしました。天人はとてもお喜びの様子でお帰りになろうとされましたが、ふとぶり返つて、『今から五日以内に、額を書いてほしいと頼む人が来る。必ず書いてあげなさい。これは仏様とのご縁につながることだ。』とおつしやつた後に立ち去られました。そのとき夢からさめたのです。このことがあったので、今日から明日かと、心中で待ち続けておりましたところ、今日で五日目となりました。そういうときに、あなたがおいでになつて、私は額を依頼されたのです。これはきっと仏様とのご縁をいただける証しにちがいありません。さつくにでも筆をとるべきでしょうが、こういうわけですから、この額は精進し、身も心も清らかにしてから、書かなくてはなりません。この額を書き上げてしまうまでは、よもや死ぬことはありますまい。』と言つて、涙を流しながら大変喜んだのであつた。行能はさらくに続けて、「おおよそ、世の中には諸芸の道にたずさわる人は多くいますが、あなたの道においては、あなたに並ぶ人はいないでしょう。」と、また感激の涙を流した。

この話は、けつしていい加減なものではない。法探房も、このことを自ら語つてゐるし、また行能もこの出来事を記した書状を法探房に送つてゐる。

（『古今著聞集』卷七 二九一 「法探房、持仏堂樂音寺の額を行成七代の孫行能に依頼の事』

問一 ————— a～jの部分を漢字に直しなさい(送り仮名が必要なものはそれも書くこと)。

問二 (A)～(G)に入る最も適当なことばを次の中から選んで、記号を書きなさい(同じ記号は一度以上使いません)。

ア たえず イ どうか ウ とくに ハ おそらく オ せつかく カ まつたく キ みるみる

問三 = A、B、Cの「と」「が」「ながら」と同じ意味で使われている文を次の中から一つ選んで、記号を書きなさい。

A アみんなはいやだと言った。 イ あなたとお話がしたい。 ウ 努力はむだとなつた。 エ これは本物どちらがう。

B ア春が来た。が、外は寒い。 イ 疲れたが、休めない。 ウ 昨日のことだが、事故があつた。 エ 私はこの服が着たい。

C ア知つていながら答えない。 イ 昔ながらの町並み。 ウ 泣きながら帰つた。 エ 失礼ながら先に帰ります。

問四 ————— 1、なぜこのお堂は「樂音寺」と名付けられたのですか。できるだけ文中のことばを使って答えなさい。

問五 ————— 2、なぜ行能は、これが法探房に会える最後の機会になると思ったのですか。

問六 ————— 3、「これ」とは具体的にどのようなことですか。できるだけ文中のことばを使って答えなさい。

問七 ————— 4、何を「待ち続けて」いたのですか。できるだけ文中のことばを使って答えなさい。

問八 ————— 5、「筆をとる」とは、ここでは具体的に何をすることですか。

問九 ————— 6、なぜこのようにしなければならないのですか。できるだけ文中のことばを使って答えなさい。

問十 ————— 7、「あなたの道」とは具体的に何ですか。

問十一 ————— 8、何が「同じ」なのですか。

二、次の文章をよく読んで問いに答えなさい。

私が初めて日本を出てカナダへ来たのは一九七五年。^{24歳}のときでした。

よく知られているように、カナダのこうよう語は、フランス語と英語の二つです。ところが、私が住むモントリオールの街を歩くと聞こえてくるのは、その二つだけではありません。中国語、ギリシア語、ドイツ語……と実際にぎやか。

カナダは、日本と違つて、様々な国からいみんを多く受け入れていてそれがいけいにあります。人口300万人のモントリオール市だけでも毎年数万人の新しいいみんを受け入れていています。いみんたちの間では各出身地の言葉が飛び交い、(A)ちゃんと英仏語も話す「トライリングガル」も珍しくないという、言葉の面で非常に刺激的で面白い街なのです。

そんなモントリオールに着いてまずショックだったのは、日本でちゃんと勉強したつもりだったのに、英語やフランス語がまともに使えなかつたことです。

英仏語が自由になるまでに、思つたよりもずっと長い時間が必要だったのはざんねんでしたが、一番早く使えるようになつたのは簡単なあいさつや日常表現です。

(B)面白いもので、²そうした表現にこそ、英語(や仏語)と日本語の基本的、根本的、そして決定的な違いがあつたのです。

使いなれた表現なので改めて考えることもなく、気づかないことが多いのですが、ふと立ち止まって、もともとの意味を探つていくうちに、英語(や仏語)と日本語の「発想」は、ちょうどぎやく方向を向いていることに、ふと気がついたのです。この第一章では誰でも知つていて表現や挨拶をいくつか挙げて、英語と日本語を比べてみましょう。

まずは感謝の表現です。最も代表的と思われる「ありがとう」と「Thank you」は同じような文でしようか。「Thank you」は同じような文でしようか。

日本語でも「サンキュー」と片仮名で書かれるほど身近な表現ですし、日本人^gでも友達などに言うこともよくありますね。ところが、こんなに簡単な表現でも、日本語と英語はその発想、つまり「話し手の気持ち」が大違ひなのです。

この二つの文を見比べて、勘のいい人ならすぐ気がついたかも知れませんね。そうです。日本語の「ありがとう」には話し手も聞き手も、つまり人間が一人も出できません。

そもそも「ありがとう」とはどういう意味でしょう。言葉は生きていますから、時代とともに変化します。そのためには、今では元の意味が分かりにくくなつてしまつましたが、漢字で書くとヒントが見えてきますよ。皆さんもぜひパソコンやスマホ、あるいは電子⁴じしよで「ありがとう」と打ち込んで、漢字⁵変換させてください。

(C)、ほら、「有難う」(または「有り難う」)と出でますね。この二つの漢字が元の意味を教えてくれます。「有」は「ある」です。「難い」はここでは「かたい・がたい」と読みますが、普通は「むずかしい」と読む漢字ですよね。小学6年生で習う漢字ですから、皆さんが中学生でもちゃんと知つていてほしいです。

(D)「ありがとう」の元々の意味は「あることがむずかしい」、つまり「なかなかないことだ」という意味です。「ありがとう」の元は「ありがたく」で副詞³ですが、その元の「ありがたい」は「めつたにない」という形容詞です。

形容詞は「赤い」や「大きい」のように、状態や様子を表すものですよね。これにたいして動詞は「行く」や「食べる」のように、行為を表します。「あることがむずかしい」、つまり「なかなかないことだ」という意味から、「（こんなないけんは）めったにないことなのに（それをわざわざして下さって）ありがとう」という意味に広がって、それが日本語の感謝の表現になつたわけですね。

（中 略）

（E）、⁵「人間が一人もいない」日本語の「ありがとう」に対し、英語の「Thank you」はどうでしょう。こちらには「YOU」、つまり「聞き手」である人が登場します。その相手に対し「to thank（感謝する）」という意味の動詞文で、形容詞が元になつている「ありがとう」とは大違いです。英語の話し手は、この文で感謝という「行為」をしてくるわけですから、当然動詞が使われるのですね。

さらに言えば「Thank you」という文は、元はもうちょっと長くて「I thank you」でした。文は「I」で始まっていたのです。日本語には人が一人も出てこないので、英語では聞き手の「あなた（YOU）」だけでなく、話し手の「私（I）」も昔はいたのですね。「I」の方は省略されてなくなりましたが、動詞の「thank（感謝する）」相手である聞き手、（F）「YOU」はちゃんと残つたのが現代英語の「Thank you」です。

日本語の方は先に見たように、動詞ではなくて形容詞、つまり「ありがたい」という状態の形容詞が副詞に変わつて「ありがたく」となり、それがさらに変化して「ありがとう」となつたものです。

動詞でないということは、この文は行為（＝何かをすること）ではないということですね。動詞文ではなくて「めつたにない」という「状況・様子」を形容詞で表しているだけです。これをまとめると、英語は「（誰かが何かを）する言葉」、日本語は「（何らかの状況で）ある言葉」だ、と言えるかも知れません。もしそうなら、「サンキュー」と「ありがとう」という二つの文は、それぞれの言葉の、代表的で典型的な例文だと言つていいでしよう。

（金谷武洋『日本語が世界を平和にするこれだけの理由』 原文の見出しは省略し、太字部分は通常の文字にした）

注1 英仏語……英語とフランス語。仏語はフランス語のこと。

注2 原文では、第一章はこの後に「ありがとう」以外の言葉についても書かれている。

注3 副詞……」では「動詞や形容詞を修飾することば」という意味で使われている。

問一 —— a~i の部分を漢字に直しなさい（送り仮名が必要なものはそれも書くこと）。

問二 （A）～（F）に入る最も適当なことばを次の中から選んで、記号を書きなさい（同じ記号は一度以上使いません）。

ア もて イ しかも ウ すると ハ つまり オ ですから カ じころが

問三 —— 1、カナダのモントリオール市は「言葉の面で非常に刺激的で面白い街」だと筆者が言つているのはなぜですか。できるだけ文中のことばを使って答えなさい。

問四 —— 2、「そうした表現」とはどのようなものですか。文中から十字ぬき出して答えなさい。

問五 —— 3、日本語と英語に違いがあるのは、それぞれがどのような言葉であるからだと筆者は言つていますか。文中から十三字、十二字ぬき出して答えなさい。

問六 —— 4、「ありがとう」の元々の意味は何ですか。文中から十字ぬき出して答えなさい。

問七 —— 5、英語の「Thank you」と違つて、日本語の「ありがとう」のどういう点を指して「人間が一人もいない」と言つていますか。

問八 動詞、形容詞とは何ですか。それができるだけ文中のことばを使って答えなさい。

1101四年度 国語 解答用紙 B日程

関西学院中学部 1101四、一、二六

受験番号	-----

※「」の用紙には受験番号と解答以外は一切書いてはいけません。
※句読点やその他の記号も一字と数えます。

問一	問二	問三	問四	問五	問六	問七	問八	問九	問十	問十一
A	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
f	a	b	c	d	e					

問一	問二	問三	問四	問五	問六	問七	問八	問九	問十	問十一
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
f	a	b	c	d	e					